

# 投資体制改革

田中 修

## はじめに

李克強総理は4月23日国務院常務会議を開催し、企業の投資自主権を更に実施する政策措置を確定し、インフラ等の分野において社会（民間）資本の参加を奨励するひとまとまりのプロジェクト推進を決定し、市場の公平な競争を促進し市場の正常な秩序を擁護する施策を手配した。これは民間投資活性化による景気テコ入れの意味合いをももっている。本稿では、その概要を紹介する（新華網北京電2014年4月23日）。

### （1）企業の投資自主権

企業に投資自主権を持たせることは、市場と政府の関係をうまく処理するための必然的要求であり、投資のカギとなる役割を發揮させ、構造改革により構造調整を推進し、経済の安定成長を維持するための重要措置でもある。

#### ①投資への許認可の範囲を更に縮減し、許認可権限を下放委譲する

昨年改訂した政府許認可投資プロジェクト目録の基礎の上に、今年さらに改訂を行う。

市場競争が十分で、企業が自己調節でき、経済・法律手段を用いて有効にコントロールできるプロジェクトについては、許認可を届出に改める。

現段階でなお許認可が必要なものについては、中央部門と地方の責任を明確にしなければならない。

#### ②許認可行為を改善・規範化する

全国ネットワークのプロジェクト審査・許認可・届出の情報システムの建設を加速し、これをうまく用いて手続を簡素化し、オンラインで運用し、期限内に手続を完了するようにする。

#### ③投資管理を改革・刷新する

事前審査・許認可及び仲介サービスを減少・整理統合・規範化し、企業投資許認可弁法・外資の投資許認可・届出弁法をできるだけ早く公布する。

### （2）投融資体制改革

投融資体制改革を加速するため、投資主体の多元化を推進することにより、自然独占の性質をもち過去に政府資金・国有企業投資により主導していた分野に対し、社会資本とりわけ民間投資を参入させる。

「政府活動報告」の手配に基づき、鉄道・港湾等の交通インフラ、新世代情報インフラ、重大水力・風力・太陽光パネル発電等のクリーンエネルギープロジェクト、石油・ガスパイプライン及びガス備蓄施設、現代石炭加工業・石油加工業基地等の方面において<sup>1</sup>、計画

---

<sup>1</sup> ゴチックは筆者。

の立地要求に符合し、転換・グレードアップに資する 80 のモデルプロジェクトをまず批准し、社会に公開入札し、社会（民間）資本が合資・独資・特許経営等の方式で建設・運営に参加するよう奨励・誘致する。

さらに石油・ガス探査、公益事業、水利、飛行場等の分野で社会（民間）への資本開放を推進する

付帯する実施細則を整備し、インフラ・公益事業の特許経営等の立法を推進し、実施状況に対する督促・検査を強化しなければならない。

### （3）市場の公平な競争促進・市場の正常な秩序を擁護

引き続き行政の簡素化・権限の開放に先手を打ち、開放・管理を結びつけることにより両者の相互補完を実現する。公平な競争環境を作り出し、市場秩序を規範化し、進行中・事後の監督管理を強化し監督管理体系を整備するなかで行政の簡素化・権限の開放を推進する。これらは、経済運営を合理的区間内に維持するための重要措置である。

#### ①引き続き市場参入を緩和する

ネガティブリスト管理モデルの模索と権限リスト制度の確立推進を加速する。政府は投資・経営を禁止・制限する業種・分野・業務等をリスト方式により明確に列挙しなければならず、リスト以外の者については、各種主体はいずれも法に基づき平等に参入できるものとする。審査・許認可事項を有償の仲介業務に転化することを厳格に禁止する。

#### ②関連法規・規定制度を全面的に整理する

競争を妨げ、公平に反する規定・弁法を断固として廃除・是正する。

#### ③生産・経営等の行為への監督管理を強化する

市場主体の責任を強化し、法に基づく平等・公開・透明を堅持し、監督管理の「公平秤」<sup>2</sup>をしっかりと把握し、監督管理の恣意性を断固として杜絶する。

#### ④信用遵守を奨励し信用失墜を懲戒するメカニズムを確立する

市場の競争原則に反し消費者・労働者の合法權益を侵犯した市場主体について「ブラックリスト」制度を確立する。信用を失墜した主体に対しては、投融资・土地供給・入札等の方面において法規に基づき制限を加え、厳重に法に反し信用を失墜した主体に対しては、市場参入禁止を実行する。

#### ⑤監督管理方式を改善する

法執行のための資源を整理統合し、頭数が多く重複した法執行を除去する。今年、各地方は市・県の総合による法執行を更に推進しなければならない。

各地方・各部門は大局に立脚し、措置を細分化してしっかり実施し、統一的に開放され、競争が秩序立った、信義誠実に基づき法を守る、監督管理が有力な現代市場システムの確立を推進することにより、市場の「エンジン」を更に強力にして、経済社会の持続的で健全な発展を促進しなければならない。

（4月28日記）

<sup>2</sup> 市場などで客が目方を確認できるように設置された秤（共同通信解説）。